

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 観光DX推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内3959)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,670 千円 (前年度予算額：6,270 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	6,270	6,270	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,670	1,835	0	0	0	0	0	0	1,835
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県観光連盟は、令和2年度に地域連携DMOとして登録されて以降、DMOに求められる「観光地域マーケティング・マネジメント」機能を強化するため、さまざまなデータを収集し、それらを総合的に分析・活用することにより、効果的な事業を実施できる体制づくりに取り組んでいる。位置情報データについては、通信事業者等がビッグデータとして提供しているが、莫大な経費が必要であること、即時性がないことが課題であった。令和5年度に初めてリクルート社が提供する「おでかけウォッチャー」を導入、分析に活用しているが、観光施設等で把握している観光客の動向と類似しており、有用なデータとして、日帰り客やイベントの動態等を分析するには不可欠なものである。あわせて、県内の希望する地域DMO等に「おでかけウォッチャー」を提供しているが、参画した地域DMO等からも、動態が一目でわかり、活用できると非常に好評であり、引き続き令和6年度も利用したいという強い要望がある。

(2) 事業内容

「おでかけウォッチャー」により、位置情報データを収集・分析することで、宿泊、消費、WEB等の分析結果を補完し、精度の高い観光動態分析を実施する。また、地域DMO等の支援として、参画を希望する地域DMO等へ安価で利用できるようにする。(応分の負担を求める)。さらに、分析結果は、参画していない地域DMOや観光事業者等へも還元し、それぞれが実施する誘客事業等へ活用してもらう。

※ 実施主体：(一社)岐阜県観光連盟

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。
補助率：10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,670	位置情報データによる観光動態の収集と分析
合計	3,670	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす
(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

位置情報データ分析（おでかけウォッチャー）：愛知県、東京都、京都府、奈良県、広島県、高知県、長崎県、沖縄県等が実施。

(3) 後年度の財政負担

データ収集・分析は継続的に実施することが必要であるが、毎年度毎に、取り組みが効果的であるかを検証し、継続して実施するか否かを検討する。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	観光DX推進事業費補助金
補助事業者(団体)	(一社) 岐阜県観光連盟 (理由) 地域連携DMOとして登録 (R2年1月)
補助事業の概要	(目的) 観光連盟が、地域連携DMOとして実施する、宿泊施設や地域DMO等と連携した宿泊データや位置情報データ等の収集・分析及びデータに基づくプロモーション等を支援する。 (内容) 地域DMO、市町等と連携した「位置情報データを活用した観光動態の分
補助率・補助単価等	定率 (内容) 10/10 (事業費、事務費) (理由) 県の国内誘客事業と連携する事業
補助効果	データに基づく効果的なマーケティングが可能
終期の設定	終期：令和7年度 (理由) DMOとして継続的なデータ収集・分析は必要。また、令和8年1月にDMOの登録を更新する必要がある。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>地域連携DMOとして、宿泊データ、WEBアクセスデータ、ぎふ旅コインの利用データ、位置情報データを収集し、総合的に分析することで、効果的なマーケティングを実施する。また、県や市町村へ分析結果を共有することにより、それぞれが実施する事業の基礎データとしてもらい、オール岐阜県で効果的な誘客を図る。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額	/	2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)	/	4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	地域連携DMOとしてデータに基づき、観光客の動きを可視化し、データに基づいたプロモーションを実施することが求められる。地域DMO等はデータ収集が課題であるが、安価で提供することで活動を支援している。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 3	データに基づき効果的なプロモーションを実施し、結果を基に検証を行っている。また、令和5年度は県内の13団体が利用(参画)しており、評価も高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	地域DMO等でも活用できる仕組みとしており、また、令和6年度からは利用する団体に応分の負担金を求めることとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>岐阜県観光連盟では、データ収集についてはある程度体制が整い、令和6年度はそれらを総合的に分析するという次のフェーズに入るが、地域DMOを含めて、マーケティング人材の育成が課題である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地域連携DMOとして、データ分析に基づくマーケティングは、継続的に実施する必要があるが、常に実施結果を検証し、改善を行っていく。また、データ収集が課題である、地域DMO等の支援を継続的に実施していく。